

自己評価表

- 自己評価表は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めてください。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- **自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。**家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
Ⅰ. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
Ⅴ. サービス成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。（実施できているか、実施できていないに関わらず事実を記入。）

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点]（アウトカム項目の後にある欄です）

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族＝家族に限定しています。

運営者＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職 員＝管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム＝管理者・職員はもとより家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目（No.1からNo.87）とサービスの成果（アウトカム）の項目（No.88からNo.100）の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	有限会社 フラット グループホームかぞく
（ユニット名）	
所在地 （県・市町村名）	秋田市新屋比内町26番1号
記入者名 （管理者）	安田 健一
記入日	平成21年12月25日

(様式1)

自己評価票

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	認知症になってもその人らしい当たり前の生活が安心して送れるように、個別に支援します。基本的に変更はない。		
2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ケアカンファレンス・職員会議などの際に基本理念の相互確認を行う！理念の共有化を図ること。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ホームへの見学や立ち寄りをPR	○	近隣住民、地域の方々への理解はまだ、不十分と考える。近所の限られた方々との交流や、年2回の地域のサークル活動のお披露目会などを実施してます。その際はホームの町内、約60件程度にイベント情報の告知チラシ案内を配布、案内…参加有りました。→スターエンジェルズ！今年は新型インフルエンザ等の感染症予防のため、機会を見送りしてます。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ご近所の方々への日常の挨拶、散歩の方々、外でお茶会や日光浴の際に声がけ、ふれあいなどの機会が有ります。	○	さらに交流の機会を増やして行きたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	可能な限りの交流に努める事。	○	自治会、地域の老人会等の交流の機会は少なく、今後、努めて行きたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	具体的な取り組みはされていない。近所の方々と の挨拶、見かけると気軽に挨拶などは通常の事。	○	地域高齢者への働きかけはまだ、不十分。近隣の高齢者の方が迷い、近所の方がホームへお連れし、地域内の連絡、連携により所在が判明した事例有り（約1年半前）…
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	GHとしての視点は内向的で偏る場合が多く、外部評価、自己評価は視点、観点の新たな見直しなどには良い機会と思います。	○	評価結果、アドバイスなどを職員へ伝達し検討して行く。出来れば他の参考事例などもアドバイス可能な範疇で結構ですので情報提供願えれば幸いに存じます。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設側の利用状況、活動状況の概要だけでは時間都合をつけて参画いただいている各位殿には不十分と思われ、利用状況、活動状況は事前資料提出の上会議時間の効率化を図りながら、主に情報交換を行う事を議題に組み込みしてます。（H21年4月から）	○	運営推進会議への参加、各位殿との日程、時間調整は困難となるばかり、当方の都合のみでは計れない、しかし当方の都合も諸事情で色々な事が起こり、定期的に行いたいのが今後も困難さは大きな事が予想されるのが現状。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	秋田市とは、秋田市福祉保健部、介護保険課、介護高齢福祉課、企画管理担当、秋田市社会福祉事務所、各窓口、担当者、各位殿とは日頃の介護保険関連、情報提供、などにおいてお会いする機会が多くあります。	○	常日頃、お互いにお会いする機会が多いが、お互いに余裕、ゆっくりとした時間が摂れないのが現状、業務の関係上はやむ得ない。新屋地域包括支援センター、管理者等については良く対応をして頂いてます。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	秋田市役所、行政の各担当窓口へ相談の上、進めている場合があります。権利擁護、成年後見人制度自体は学ぶべき事です。相談窓口としては他に家庭裁判所、リーガルサポートなどの機関あり。	○	施設として可能な範疇の業務を兼務する中、実情は行政や専門窓口、機関での対応となる。請求業務、実務を兼務する施設での対応は出来ないのが実情です、多人数の会社組織で会計、事務担当など個別の場合は可能なケースも有るようですが、色々な業務を兼務している小規模施設では出来ない。またするべきではない、それこそ施設内で抱え込みすぎる場合の査収は誰が…第三者がするべき。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	各機関からの研修会などの案内の都度、可能な参加を心がけています。	○	施設内でのOJTや外部での研修へ参加する機会を多く持つようにする事。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明、医療連携同意書、預かり金委任状、規定等については必ず！管理者が利用者ご家族への説明を行います。	○ ご家族にとっては、利用規約、重要事項、契約書…他の説明資料が多く、とても資料の熟読や規約などすぐには理解できる事は難解と思われます。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	色々な意見を頂けるような、雰囲気や話しやすい状況、相談に気軽に応じられる体制を心がけてます。	○ 色々な意見を頂けるような、雰囲気や話しやすい状況、相談に気軽に応じられる体制を心がけてますが、実情は言いにくい要素が多くあると思います。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	必要な場合は情報を報告します。月＊1回は情報通信してます。たより！バイタル、体重、献立、食事摂取、診察、受診等の報告、他・・・	○ 職員からのコメントを各利用者毎に作りたいが時間的に困難。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	広く意見やアドバイスなどを頂けるような状況を心がけ！	○ 意見やアドバイス、提案は決して多くはないので、より多くの意見を頂けるように努めます。現状には不満足、色々な見方、視点、と思いはある筈と思います。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員にしてもい諸事情、価値観、視点があるので、全体の職員会議を年3回から4回は設けて、意見や提案を頂ける機会を設けてます。報・連・相を基本に忠実に…	○ 日々、発生したり、問題意識がある事は常時考えられるので、すぐに意見や提案をすべき、問題を長い時間費やしたり、全員が集まらないと検討、判断できない施設であれば即応力や迅速性に問題有り、決断できる事は即検討、実施…検討が必要な案件は検討の上で判断が妥当と考える。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	施設としての突発性の業務、急変時の対応、やむを得ない病院などの付き添い、時間超過は柔軟な対応とを心がけています。	○ 柔軟な対応を図りつつ、緊急対応や代替え勤務、時間外など施設としては労務管理に関して後処理や調整に難儀している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	やむを得ない離職者が今までは少なかったのが当事業所、これからは諸事情が考えられる。寿退社、出産、定年退職・・・	○	H16年から5年半の勤務者が*4名、3年以上が1名とこれから都合による職員の交代は考えられる、しかし小規模事業所の求人応募は極端に少ないのが現状、しかもある程度の機関の研修、育成機関が必要。
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勤務実態と実務経験、能力段階に応じた育成機会や研修機会を図る。	○	左記のように可能な機会を図る上で実情の勤務計画には影響されるのが実情。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	過去にも同様な施設のとの職員体験、研修・見学を行っている。（男鹿市船越のGH）	○	秋田市内でのGH連絡協議会秋田市ケアパートナーズ（任意加盟のGH施設）での交流会・お互いの研修会、介護職員対象の研修、交流会を実施中、これからも可能なかぎり、職員を参加させたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ひとときの音楽や珈琲、お茶を楽しんで頂く。希に話題のお菓子なども…気配りのみ…	○	事業所、施設と業態ではストレス解消の手段は限られており、他はどのような軽減策や環境作りを行っているのか事例をアドバイス頂きたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	向上心を継続する事は難しいが、自己の「動機付け！」を積極的に考えられるようなきっかけづくりを図る。	○	研修会などの受講機会を得て、社内での受講の報告、所見を活かした実務の目標を持つ事。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用申し込みの際にご本人、ご家族、支援事業所、相談員などの方と面接を行い、入所、利用判定委員会の認可を得て、進めながら、利用者との信頼関係の構築と要望を可能な範囲で把握する事に努める。	○	当事業所での介護計画との照会、GHでの生活支援が可能か適正な判断を行う。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族からの申し込み時に可能な範囲で、ある程度の状況と要望を伺い、求めている事との事業所形態、各種介護サービスの適正利用をお話し合いする。	○	遠方のご家族や、話し合いの機会、時間等に制約される場合が多くなってきている。（最近では身寄りが無いような方、もしくは関与拒否などの相談も多い。）
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	同上のように適切な福祉サービスを受けれるようなお話を可能な範囲でお話し。	○	対象地域の「地域包括支援センター」との連携、照会や行政の窓口などへの相談を進める場合もある。（行政の福祉サービスの介護保険のしおり、高齢者のためのくらしのしおり…当事業所に複数部数有り、必要に応じてご家族へ提供…）
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	申し込み時や利用開始前に見学を進めています。	○	諸症状にて環境等の変化で変化は著しい場合がある。その場の環境や人間関係は置かれている状況下で反応が顕著な場合が多いので事前見学を進めている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	グループホームの利用定員、特色と思います。	○	まだ、不十分と考えるようにしています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	グループホーム職員として出来る介護、ご家族との連携が必要な事の関係構築は大切！	○	まだ、不十分と考えるようにしています。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご本人対象の情報提供と双方連絡を心がけ、機会を計りながら面会の要請も行う。	○	格差が発生しており、是正に努めています。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出来る限りの対応は図る。	○	状況に応じての支援にとどまる。支援にも状況に応じては限界はある。（高齢、要介護状態、その他…）
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	グループホームの小集団生活の場では孤立化は未然に防止するべき。	○	集団で出来る日課づくり、しかし無理強いはいしない事。他に関わり合いを深める実施策を検討中…季節によっても相違点はある。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	以前にご利用のご家族の方からの気軽な訪所やその後の連絡もあるので、関係を大切に保ちたい。（退所後4年半経過後のご家族、他…）	○	これからもご利用のご家族との関わり合いをさらに大切に行きたいと考えます。具体的に情報提供を図ります。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	○	ご本人を知ろうとする事と同様に継続的な課題とする。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	○	生活状況、経過の情報は多ければ多いほど把握しやすい、情報を適切に集約するのは元の情報量に関係するので可能な情報を把握する事。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	○	一日の時間の使い方、過ごし方を利用者毎に把握する事を常に気づきを絶やさず把握する事。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	○	ケアプランに基づくチームケア実施の基本徹底
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	○	3ヶ月毎のケアプラン見直しの実施

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のケース記録の検証と情報の共有化	○	個別の利用者毎の情報共有化促進
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	グループホームとして生活支援できる範囲での対応を職員間で検討を行う。	○	必要に応じて医療連携や専門的な見解等の情報を得る事に努める。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関、医療機関等と協力しながら支援している	地域の民生委員、警察（新屋交番）などとの連携	○	新屋消防署の施設点検はほぼ毎年毎に行われている。行政（新屋支所）での関わり合いは要請したが、秋田市役所、本庁の関与が無いと出来ない旨、新屋地域包括支援センターの関わり合いはある。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	過去にも適切なサービス利用に関して、相談や話し合いの事例有り！他の施設サービスの利用相談は*2件…入院後は複数回有り	○	事業所の連携先など、出来る範囲で必要に応じた支援の促進
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	行政や地域包括支援センターとの連携、相談	○	限られた機会、時間の中、地域包括支援センターとの連携、相談を促進したい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の医療との連携は良好 2週間毎の訪問診療と健康状態・服薬情報、お薬残量、オンコールの連携を持つ。	○	詳細な利用者毎の情報提供に努め、即応性の高い主治医からの指示を伺う事ができるように向上したい。薬局の先生との連携も同様。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	現状では内科医の主治医からの紹介等の関わり合い	○	グループホームとして現在の内科医、主治医と併せて認知症専門医の連携構築が必要。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員の採用であり、利用者を熟知し、また介護職員からの相談に応じられる体制	○	看護職員への相談と指示事項の徹底を促進し、利用者毎にきめ細かい健康管理を図りたい。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	現在の医療機関では入院後、検査等終了後、病名が判明すると数日後に入院、治療、加療計画が作成されるので、ご家族の方の了承と同意を得ながら入院期間、見込みなどを担当医からお聞きする機会を頂くようにしています。	○	各医療機関にも同様な話し合い、治療計画などの見込みなどの話し合い、情報収集を向上したい。入院見込みがある程度判明しないといつになるのか待つのみ…
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご本人、ご家族の意向を図りながら、利用者毎に必要な方針を話し合う	○	重度化の事例有り（5件）、ご家族としての意向は現在の事例までは医療へのかかりつけの意向が多い。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	事業所のチームケアとして出来る全体的なケアレベルを適切に判断した上で可能な対応を検討する。	○	チーム全体のケアレベルの向上促進（現状より高い目標）

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、本人及び家族に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	具体的な相談事例は前の事項にもあるとおり	○	具体的に住み替え等のダメージを防ぐ事は限界有り、他施設への住み替え等はなるべく影響を与えない事位、自宅での住み替えであれば、生活支援での住宅改修などが考えられるが、対応は居宅支援事業所が行う範囲と考える。
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	雑談の禁止、介護内容の検討、話し合いは事務所等で行う事の徹底、指示	○	まだ不十分と思われる。四方山話、つい台所で…などが無いように徹底する事。繰り返し徹底！
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を「尊厳の保持」に配慮して行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	よくお話を聞ける環境作り、話しやすい場所、雰囲気作りを心がける。	○	不十分、じっくりお聞きする機会を作ろうとしなければ何も変わらない、誰かが…依存心や当事者意識をもてない方は何時までたっても出来ない。意識徹底！
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の過ごし方を十分に把握する事が先決	○	職員の都合や業務分担を優先するには十分な把握をした上で、先んじて出来ることを行い、事前に備える事が出来るように配分したペースをつくる、それでも突発的な事は起こりうる、可能な限り把握に努め、備えることが出来るようにしたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	訪問理髪や地域、近所の理美容店を活用している。	○	すべての理容店・美容院への付き添い、対応は限られた職員、時間では出来ない、しかもコストは無限ではない事を十分に理解した事項とは思えない。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下ごしらえ、準備、盛り付けなど利用者毎に出来る範囲で一緒に行う、食器の洗浄はノロウイルス等の感染予防上、今年の6月からは職員のみで対応…熱湯消毒！塩素系の消毒あるので…	○	利用者の安全性を図りながら出来る事を検討し、増やして行きたいと考えます。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつは午前・午後の2回 施設の規定により、禁煙！禁酒！です。	○	禁煙は防火！失火のおそれの未然防止策！の安全徹底…火元を無くすことが失火の未然防止につながる。禁酒はお薬などで薬効が強くなる場合があるので他の方々への影響も考慮する事。
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう「尊厳の保持」に配慮して支援している	利用者毎に時間帯によるトイレ声がけ、誘導を図る。個別には夜間帯も同様に行う。	○	利用者毎によるが、常に状態が同様ではなく、その都度の排泄状況の把握し、個別に対応策を検討し、実施する。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には週に2回の入浴としてます。 ただし入浴希望日以外でも入浴希望があれば出来るだけ希望に添うように対応してます。	○	約450ℓ内容量の浴槽にお湯張りが約15分ほど…入浴後はおゆの入れ替えと浴槽の洗浄後にお湯張りを行うので約30分の時間が必要であり、3名/日が時間的に限度か…午後2時過ぎから入浴開始…
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	普段は自室やリビングなどでくつろげる環境	○	食後はゆっくりと自室で休みたい方…他の利用者と職員が居るところでくつろぐ方と…それぞれの過ごし方…午前・午後のおやつ、お茶の時間は皆さんと一緒に過ごす事が多い。
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常生活の中で行う、普段の生活	○	日々の行事やイベント思考の生活支援より、日常生活の延長と捉える事を念頭にしています。ご利用者はここでの生活ですから…

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり使えるように支 援している	利用、入所前に金銭管理の状況や管理力をご家族 から確認し、お金の事に対して不安感が増大する 可能性が高い場合は施設管理とします。	○	お金の事、ご家族の負担、利用料の心配は常に気 になるようです、お金の事は余計な心配をしない ような配慮が必要、買い物は冬、降雪時期を除 き、金額を決めて買い物をしたり、ホームの食材 購入時に同行する事があります。出来れば回数を 増やしたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひと りのその日の希望にそって、戸外に出かけ られるよう支援している	季節や天候によりけりですが、近くの散策や公 園、近所のお庭拝見など、屋外で日光浴は都度行 う。	○	新屋地区大川町近隣公園、美術短期大学関連施設 (アトリエももさだ) 三角屋、市民センター、大 森山公園、セリオンなどに出かける事もありま す。今年度は動物園に見学を実施できませんでした ので、来年は実現したい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けな いところに、個別あるいは他の利用者や家 族とともに出かけられる機会をつくり、支 援している	上記の範囲で対応事例有り、以前はユフォーレ・ 仁別国民の森・プラザクリプトンへ一部ご家族の 方と利用者様が一緒に出かけた。	○	2回/年行事計画と近隣には3回/月の外出を行 う、ただし21年の後半期は感染症の影響を考え行 事の見送りした。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をし たり、手紙のやり取りができるように支援を している	絵はがきの作成を行う。(ホームの作付け、畑で 収穫した野菜の絵を描き、作成)	○	お便りの回数を増やしたい！
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人 たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地 よく過ごせるよう工夫している	特例の事情や遠隔地などの諸事情が有る場合を除 き、面会の機会を頂けるように努めている。	○	ご家族の都合もあり、面会頻度にかかなりの格差が 有るので気軽に面会の機会を頂ける情報提供に努 める。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	施設内として「原則的に身体拘束はしない！」基 準マニュアルの徹底と身体拘束に抵触する行為の 注意、指摘に努める。	○	職員同士が適切な「介護保険法指定基準における 禁止の対象となる具体的な行為」を行わないよう にする事、抵触する行為がない事などお互いに 指摘できうる体制をつくり、緊急且つ、やむ得な いケースの場合でも上司の許認可を得て行う事。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに努めている	玄関施錠は防犯上、セキュリティ上から夜間に行 う、日中は当初から見守り対応とする。	○	利用者のプライバシー、安心感を持って頂く事 で、自室に居る場合は内側から内鍵をかける利用 者も居ます。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しなが ら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握 し、安全に配慮している	職員の見守りエリアを一応決めてます。日勤者・ 早出者・遅出者	○	居室にいらっしゃる時間帯が多い方、廊下の見守 りに注意を怠らない事。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのでは なく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	利用者毎の状態、目線、生活様式によるリスクの 検討と見直し	○	生活様式の変化やリスク検討は常に発生している 事を認識。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	個別のリスクを検討、見直しを行う体制	○	職員の連携による、見守り、時間帯での所在確 認、身体状況、体重の変動、履き物、火元を作ら ない工夫、管理、服薬の複数職員の関わり方、咽 せや嚥下状態の把握、食後の口腔ケア、就寝時の 入歯管理などの徹底
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全て の職員が応急手当や初期対応の実践訓練を 定期的に行っている	救命講習会の受講奨励、受講者からの報告…救命 マニュアルの整備	○	全員の救命講習会の受講を目標とする。…現在6 名の受講…
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を 問わず利用者が避難できる方法を身につ け、日ごろより地域の人々の協力を得られ るよう働きかけている	連携先施設…勝平苑	○	災害時の施設連携先は決めているが近隣の住民か らの協力要請、地域、地元消防団などへの協力要 請についてはまだ不十分。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	身体状況、生活状況を考慮したリスクの説明責任は施設として行う。	○	説明の機会や時間に、お互いに制約が起これるので、機会や説明連絡に改善を検討して行きたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	グループホームでの生活を過ごされる中、食事、睡眠、排泄などのバランスに変化の兆しや異変に気づきを常に持ち、必要なら主治医からの指示、見解を頂ける体制。	○	生活状況、身体状況などの詳細な記録を各職員が適切に報告できる事、施設の連絡網の整備、オンコール指示を頂けるシステムの連携強化を進めたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	現在は、お薬の受け取り時に薬剤師の先生からの説明を受け、お薬の受け取りを行う、（一人は市立秋田総合病院からの処方）の方はすべての服薬にお薬情報を頂き、詳細が分からないときは調べたり、必要な場合は、薬局の薬剤師の先生からも情報を頂ける。	○	薬剤師の先生からお薬の説明、注意点など指示いただける連携関係にある。専門的な事も含め、詳細の指示やお聞きしたい事を伺える連携関係を進めたい
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	プライバシーを尊重し、自己排泄の利用者も含め、トイレの使用後など様子を把握（臭いなど…）排泄状況の把握に努め、記録を集約し、必要な場合に主治医から指示を頂く。	○	排泄状況の確認と個別の記録様式作成と記録の集約、管理の徹底、一人でも連携を怠ると個別の推移データとならない。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケア、入れ歯の洗浄など食事摂取後の時間帯別、個別に行う。	○	口腔ケアでの自覚諸症状が明確に表現できない場合が多くなっており今後の症状察知に苦慮している。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1, 600から1, 700CC/日…体重×33%、35%の必要日量水分補給量を行う。毎食での水分補給量、お茶の時間、個別に水分補給量を決めている方（状態低下…）必要な場合の補給量の記録を行う。	○	その時の状態に関わらず水分補給量は大切な要素。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症に施設としての実施策を告知と、ご家族、関係者への連絡を行う。面会時や訪問時の手洗い、うがい、脂手消毒などを行って頂く、告知と受付時にお願ひする。	○	食材や時期、買い置き、保存、作り置きはなるべくしない事、加熱処理する事、食器類、ふきんの煮沸消毒、塩素系希釈剤での消毒、施設内の塩素系希釈剤での清掃、台所、施設内の換気装置の清掃は定期的に行う。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材や時期、買い置き、保存、作り置きはなるべくしない事、加熱処理する事、食器類、ふきんの煮沸消毒、塩素系希釈剤での消毒、施設内の塩素系希釈剤での清掃、台所、施設内の換気装置の清掃は定期的に行う。	○	常に管理、徹底の意識を持続する事。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	利用者の視点からの工夫を図りたい。	○	出入りに障害となるような事や者がないように、常に利用者の視点から判断する事。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	必要な機能を優先してます。	○	季節感はない。内玄関廻りなどに少々有り、以前は夏場にビー玉入りのガラス鉢を置いたが利用者が間違い、持って行ったり、寄せたりする場合もあり。…キラキラしているからか？
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングと食堂部分は通し、ソファや食堂の椅子などでくつろいだり、自室で横になつ方、自由度有り。	○	冬期間はリビングの床暖房などで快適に過ごされるように、一部になじみやすい畳部分を設けているが、以前から現在まで、座り込みでの立ち上がりが困難、活用できていないのが現状。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	利用者毎に持ち込み品は量的にも格差が有る。仏 壇などは失火の未然防止のためお断りしている、 また湯沸かしポット、冷蔵庫の持ち込みも遠慮し て頂いてる。	○	居室のカーテンや部分的な絨毯、敷物も防災処理 した物以外の持ち込みはお断りしています。防災 処理を行う業者は必要ならお知らせ！やけどや賞 味期限切れの未然防止のため…
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないう 換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	換気装置の使用とお部屋の空気の入れ換えや（不 在時）換気装置の点検清掃を定期的に行う。	○	職員全員の連携と点検、清掃の促進を向上させ る。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	バリアフリー、廊下や空きスペースに障害となる ような物を置かない。	○	装飾的な要素には欠けるが広々とした清潔感は最 優先で維持管理したい。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	個別にご本人の状態、廻りの方々から協力を得な がら、色々な事を良く知ろうとする事。	○	見極めできるような情報量の収集と協力を頂ける 関係を維持する事。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	殺風景と言われるかも知れませんが、駐車場ス ペースの広さや止め方、見晴らしの良い環境に努 める。	○	駐車場のスペース、ホーム社用車などの位置、止 め方には事由を持った配置としてます。季節に よっては外用のベンチや椅子、テーブルを使いま す。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)